

製品名: BM28 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab07582**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	120kDa

抗原情報

遺伝子名	MCM2
別名	MCM2; BM28; CCNL1; CDCL1; KIAA0030; DNA replication licensing factor MCM2; Minichromosome maintenance protein 2 homolog; Nuclear protein BM28
遺伝子 ID	4171.0
SwissProt ID	P49736
免疫原	抗血清はヒト MCM2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 1-50

背景

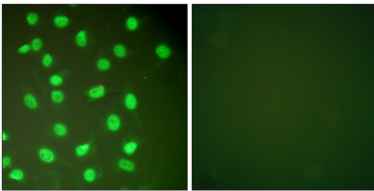
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、真核生物ゲノム複製の開始に関与する高度に保存されたミニ染色体維持タンパク質

(MCM) の1つです。MCMタンパク質によって形成される6量体タンパク質複合体は、複製前複合体 (pre_RC) の重要な構成要素であり、複製フォークの形成や他のDNA複製関連タンパク質のリクルートに関与している可能性があります。このタンパク質はMCM4、6、7と複合体を形成し、複合体のヘリカーゼ活性を調節することが示されています。このタンパク質はリン酸化され、タンパク質キナーゼCDC2およびCDC7によって調節されます。複数の選択的スプライシング転写バリエーションが見つっていますが、一部のバリエーションの全長は定義されていません。[RefSeq提供、2012年10月]、機能: DNAが細胞周期ごとに1回の複製を行えるようにする因子として機能します。S期への移行と細胞分裂に必須である。、PTM: 増殖細胞においてATRによってSer-108がリン酸化される。Ser-108の増殖は遺伝毒性物質によって促進される。Ser-40のリン酸化はCDC7-DBF4およびCDC7-DBF4B複合体によって媒介されるが、Ser-53のリン酸化はCDC7-DBF4複合体によってのみ媒介される。、配列注意: 翻訳N末端が短縮されている。、類似性: MCMファミリーに属する。、類似性: 1つのMCMドメインを含む。、サブユニット: DBF4と相互作用する(類似性による)。MYST2と相互作用する。MCM10と相互作用する可能性がある。、

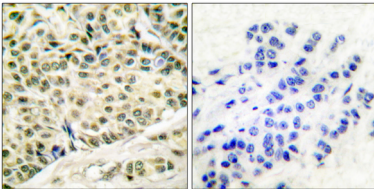
研究分野

DNA複製;細胞周期 G1S;細胞周期 G2M_DNA;

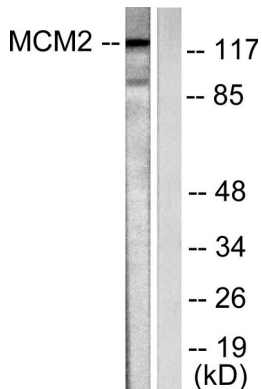
画像データ



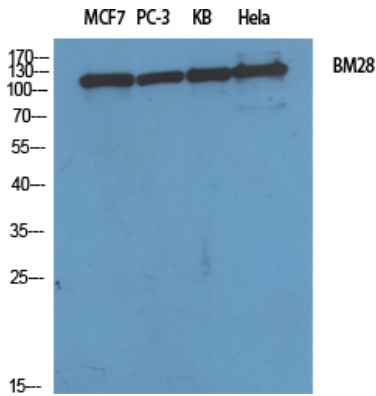
MCM2抗体を用いたHepG2細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした状態。



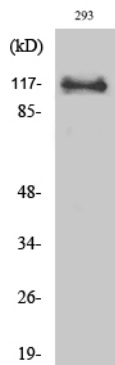
MCM2抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした画像です。



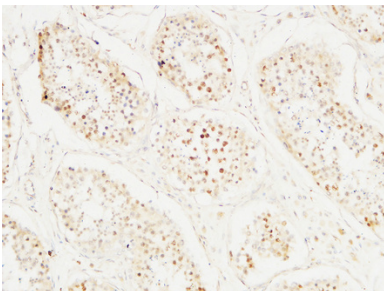
MCM2抗体を用いた293細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロックされている。



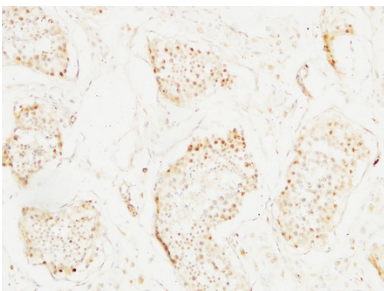
1: 2000に希釈した BM28 ポリクローナル抗体を使用したさまざまな細胞のウエスタンブロット分析。



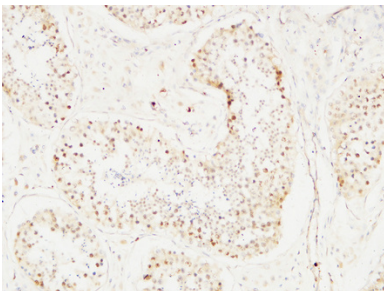
1: 2000に希釈した BM28 ポリクローナル抗体を使用した 293 細胞のウエスタンブロット分析。



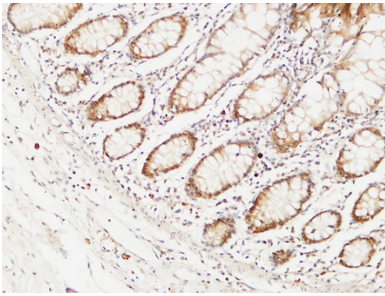
パラフィン包埋ヒト精巣の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:100 に希釈した (4°、一晚)。2、高圧高温 EDTA (pH8.0) を使用して抗原賦活化した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、30 分)。



パラフィン包埋ヒト精巣の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:100 に希釈した (4°、一晚)。2、高圧高温 EDTA (pH8.0) を使用して抗原賦活化した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、30 分)。



パラフィン包埋ヒト精巣の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:100 に希釈した (4°、一晚)。2、高圧高温 EDTA (pH8.0) を使用して抗原賦活化した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、30 分)。



パラフィン包埋ヒト結腸の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:100 に希釈した (4°、一晚)。2、高圧高温 EDTA (pH8.0) を使用して抗原賦活化した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、30 分)。